

O A A かわらばん

O A A ニュース No.61 2022年9月10日発行 編集・発行人：日野健太郎 発行所：(一財)O A A 神戸市中央区下山手通4丁目16-3兵庫県民会館内

O A A 現況ご報告 ～ 理事長 就任ごあいさつ ～

理事長 清水 勲夫



前回の「かわら版」から一年以上のご無沙汰をしてしまいました。暫くぶりのご挨拶です。そのご容赦を願い、現況をお伝えする事が、理事長を拝命した私の最初の役割となりました。

勤労青少年育成と仲間づくりが使命のO A Aは、その経緯から財団設立当時(昭和41年)より理事長を知事が務め、平成21年(2008年)より副知事にその役務をお願いしてきました。そしてこの6月の役員会で、理事長の選任を受けることになりました。幸い、片山前理事長(副知事)には引き続き理事にご留任、当協会をご支援願えることになりました。長年の経験や知識はあっても、理事長の立場は異なり、さらにO A Aの厳しい現況が控えます。

先ずご報告すべきは長引くコロナ禍、事業活動の展開は厳しさを増し、当協会の根幹、宿泊研修施設O A Aはりまハイツの運営に、かつてない困難が生じたことです。築後50数年の施設は、兵庫県より耐震補強の助成また、長年ご利用いただいた事業所や労働組合、各種団体の皆様のご支援や募金等も受け補修、運営の持続を図って参りましたが、昨今の状況を克服出来ず、昨夏をもって53年間の宿泊施設としての機能を終えることとなりました。

学生ボランティア入りたての当時『去年建ったピカピカの施設や』と建設募金に汗した先輩や会員の方たちの弾む声。高度成長期当時、県内外からの「金の卵」の新人教育、その先輩づくり研修、管理監督者研修、結婚式や披露宴パーティー、ライブプランセミナー、小学生サマースクール、各種専門学校生のチームワークをテーマとした合宿研修や野外教育、地域活動やまちづくりのリーダー研修そして

市民活動や余暇活動、生涯学習活動等、時代とニーズを反映したあらゆる世代の活動がはりまハイツで行われ、その多くに携えることにもなりました。施設は県内外の利用者が集い、出会い、学び語らう場の一方、阪神大震災当時は西日本からの復興隊が深夜早朝稼働する最前線基地ともなりました。

東播磨の豊かな歴史と自然の地、ここ日岡に施設をお誘いいただいた当時の加古川市長、ご活用いただいた市民の方々、そしてこれまでハイツを支えてくれたスタッフ、リーダーの方たちにも心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

はりまハイツは今、名乗りを上げて戴いた地元のクリエイターの方たちのアイデアと支援を受け、新たな交流と楽しみの空間づくり(ON THE HILLと命名)をスタートさせました。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。これらはまたあらためてお伝えする機会があればと思います。明日の自分を求め、学び過ごした場所が新たな創造やくつろぎの場所になることを期待し願っています。大ホールは一般利用の集会室、またO A Aのプログラム会場としても引き続き活用、屋上はこれまで通り公園の一部として、東播磨一望の展望台のままです。

今、大きな節目を迎えましたが、青少年の育成団体として、またその環境づくりを支援するO A Aの使命は変わることはありません。長年の経験やリーダーシップの積み重ねは今、そしてポストコロナに向けて生かされなければなりません。O A Aにとって、今や時間は無限ではありませんが、微力ながらも全力で取り組みます。どうぞ、今後ともよろしくご支援を賜ります様、お願い申し上げます。

◆OAA事務局レポート◆

ご挨拶が遅れましたが、下前康夫事務局長の後任として4月1日付で事務局長に就任いたしました。学生ボランティアに委嘱されたときからのOAAとの関わりも、早いもので十数年が経ちました。OAAの積み重ねてきた長い歴史からすると、ほんのわずかな時間ではありますが、その間にも目まぐるしい社会の変化そして人々の意識の変化を感じながら活動を進めてまいりました。その変化は今後より予測困難なものとなると考えられています。そのような時代で求められつつあるリーダーシップ・チームワークなどの体験学習の機会、心身の健康管理の機会、自己実現の機会などは、OAAが発足当初から取り組んできた取り組みの根幹ともいえるものです。そこに、はりまハイツにおけるON THE HILLの展開など、現代ならではのネットワークから生まれる新たな取り組みの芽も育ちつつあります。引き続き、野外活動・自然体験活動をベースに、職域・地域・家庭におけるウェルビーイングの実現に向けたOAAならではの取り組み、そして未来を担う青少年の育成活動を進めてまいります。



(事務局長 日野 健太郎)

OAA会員活動の今、これから

未だに収まりをみせない新型コロナウイルス感染症の影響は、会員活動の展開にも大きな影響を与えています。会話時のマスク着用などの感染予防対策を取りながらのプログラム実施、そして緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期間中は活動の中止、宿泊プログラムも小規模に県内移動のみの実施など、制限の中で運営しております。



日帰りハイキングは食事なしで半日のショートハイキングがメインとなり、自然に浸ることのできる歩きやすいコースを選んで実施しています。また新たな取組として、散歩しながら食や学びを楽しむ「お手軽ハイキング」の企画も進めています。個人の健康管理上、また職種による制限などで、なかなか参加の難しい方々も多くおられます。醍醐味のひとつともいえる会員交流の機会も、未だ満足に行うことができません。みなさんと思い切り交流を楽しむことのできる状態に戻ることを期待しながら、できる限りの活動を粛々と取り組んでまいります。

また、先の見えない状況に対して柔軟に対応できるよう、今年度は年間スケジュールを掲載せず、都度プログラムをご案内しております。また時代に合わせ、紙媒体によるパンフレットや案内の送付を取りやめ、WEBのみでご案内を完結させていただいております。まだまだご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

OAA子どもファミリー対象活動報告

会員活動と同じく、まだまだ新しい生活様式での活動は続きますが、おおむね平年並みの活動が戻ってきています。

自然豊かな宍粟市の鷹巣地域を舞台とする「田舎生活体験キャンプ」では農作業に川遊びや手作り夏祭りを体験、「ウインターキャンプ」では雪遊びや冬の暮らしを学びました。

アウトドアブームを反映してか、鷹巣や家島で行うファミリーキャンプもキャンセル待ちとなるほど好評を頂いております。家族でアウトドア入門の機会として、体調不良による直前キャンセルも対応させていただきますので、お気兼ねなくご参加お申し込み下さい。

いずれのプログラムも、企画運営の補助に関わる大学生リーダーの活躍あっての運営となります。中高生でもリーダー見習いのジュニアリーダーとしていただけますので、お問い合わせ下さい。



=発行所連絡先=一般財団法人OAA

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3兵庫県民会館内 TEL078(754)8631 FAX078(754)8632
E-mail=czg03047@nifty.com HP=http://oaa.hyogo.jp/